

# 令和2年度事業計画

## I. 令和2年度事業経営の基本的考え

### ①基本理念

障害のある方たちが個人の尊厳を保持し、誇りと輝きをもって暮らし、働き、活動できる地域社会の構築のために支援活動をしてまいります。

### ②運営方針

利用者、職員、役員が「今できることを法人全体で社会に還元」しながら、共に生きる喜びと感動に満ちた人生を送れる事業経営をしてまいります。

### ③法人のビジョンと本年度の位置づけ

仙萩の杜びぁと円が合併して事業年度が3年目を迎える年となります。平成31年度は事業について見直しと強化を図り充実したものにしてきたところです。社会福祉法人に課せられる責務が年々大きくなる中、社会変化に対応していくため法人の基盤強化が不可欠です。令和2年度も各事業所相互の強みを生かし、弱みを克服するための取組を進め、事業所内・事業所間の関係性をより柔軟で対応力のあるものとし、法人一丸となって事業の充実を図ってまいります。

### 短期ビジョン

障害のある方やご家族の抱える高齢化の問題は喫緊の課題です。安心して日常を送れる生活の場の施策を進めます。

職員への支援体制について人材育成に尽力し、利用者と共に育みあえる魅力ある職場づくりと支援力の向上を図ります。行政・民間等の研修及び当法人内での研修を企画して職員のキャリアアップをおこないながら、法人体制の強化を整えてまいります。

若い世代に法人の取組を知ってもらうためのインターンシップをおこないます。

### 中期ビジョン

法人としてご本人・ご家族等支援を必要とする方々に個々人のニーズに寄り添った質の高い支援をおこないながら、透明性のある創造的かつ健全で時代変化に対応できる事業スケールの強化や社会の福祉的要望の大きい事業への参入を視野に多様な事業体を構築してまいります。

## II. 社会福祉事業について

### 就労支援事業

食品衛生法が改正され6月から原則全ての事業者には「HACCPに沿った衛生管理」が制度化されます。制度の運用開始に伴い、食品を取り扱う全事業所でHACCP（一般的な衛生管理及び食品衛生上の危害の発生を防止するために特に重要な工程を管理するための取組）の考え方を取り入れた衛生管理をおこなってまいります。

### 1. びぁ拠点

#### 多機能型就労支援事業所びぁ

- ・就労継続支援事業（B型） 定員34名

お弁当の製造・販売では、4月より退職者の補充として調理師1名を雇用し生産体制を整備してまいります。今年度は減産している食数の回復を目指し、美味しいと言われる製品の質のますますの向上を図ります。また、箸袋のQRコードアンケートの結果をリアルタイムで職員にフィードバックすることで利用客のニーズを把握し、製品に反映してまいります。

燻製製品の製造・販売では、継続して製品の品質の安定化を図り、美味しい「伊達の燻製」を提供し、ブランド力を高めてまいります。また、原材料費や送料等の高騰に起因する価格の引き上げを検討してまいります。

新たな生産活動であるびぁベーカリーでは、国産小麦粉を使用した保存料無添加のパンの

製造を開始し、美味しいと好評を博しております。引き続き、生産体制を整え、製造数の増加を図り、こだわりの生食パンやフランスパンはもとより、野菜等を使用した新製品の開発によりラインナップを充実させてまいります。従来製品も含めて販売方法を工夫し、収益につなげ工賃として還元していきます。

PC解体・玉葱袋詰め作業等の受託作業においては、利用者の習熟度も高まり作業効率の向上が見受けられます。作業未体験の利用者にも今後作業参加者を増やしてまいります。

・就労移行支援事業 定員6名

一般就労を希望している利用者の職業準備性を高めながら企業就労につなげていきます。また、引き続き、支援学校の依頼を受けての就労アセスメントをおこないます。

## 2. レストランぴあ拠点

### レストランぴあ

・就労継続支援事業（B型） 定員20名

新型コロナウイルスの影響により来客数が従来の半分ほどに落ち込んでおり、未だ見通しが不透明な状況にありますが、令和2年度も引き続き、宮城県ならではの地元食材を使用し、和食・洋食メニューを提供するサービスによる生産活動をおこなってまいります。レストランぴあならではのおもてなしを重視したメニューと質の高い逸品にこだわり、提供していくことで集客につなげます。県庁職員のみならず、多くのお客様に喜ばれる季節感あふれる美味しいランチを提供してまいります。行政と連携した毎月第3水曜日の「みやぎ水産の日」や11月の食育月間への取組、第40回全国豊かな海づくり大会とのタイアップ等の他、喫茶タイムも来客を増やし、憩いのひと時をお客様と共有しながら更なる工賃向上につなげてまいります。

## 3. まどか拠点

### 就労支援事業所まどか

・就労継続支援事業（B型） 定員30名

引き続き、利用者の就労体験や作業訓練、言葉の使い方、挨拶等といった基本となる接客行動、作業意欲の向上を図ります。また、利用者自身の活動が自分たちの工賃の向上につながるよう考える機会を作る支援をおこない、併せて、販売活動で人間形成に必要な自立意識の向上、育成を図ります。

#### ① レストラン事業

昨年8月に新規オープンしたレストランぴあてらすでは、令和2年度も引き続き、前浜の海産物と自家農園の農産物を中心とした旬の地場産品を使用した四季を感じられるメニューを提供してまいります。近隣住宅地へのポスティングだけでなく SNS を利用した広報を積極的におこなうことで近隣のみならず遠隔地からも集客を図り増収を目指します。

ベーカリーぴあぶらんでは、好評を博している国産小麦粉を使用した保存料無添加のパンやオリジナルクッキー、季節感のあるケーキ等を新製品の開発を含めて引き続き製造し、安定した売上を確保できるよう販路を開拓してまいります。

#### ② 農園事業（野菜作り、販売）

借用農地を柳生から四郎丸へ変更したことで畑地のより効率的な利用が可能になっています。計画的な作付けを基本とし、減農薬による栽培の実践に取り組みます。また、収益性の高い農作物の生産及び加工、販売を実践し、弁当の製造・販売事業やレストラン事業へ生産物を提供してまいります。

#### ③ 清掃事業（外部・内部請負清掃）

食品加工作業・販売作業で衛生面の維持が難しい方のための作業として清掃作業をおこないます。

#### ④地域における取組

新型コロナウイルスの影響で2020東京パラリンピックが1年程度の延期となりましたが、仙台市の聖火採火式場であるびあてらすでは、式典がより充実したものになるよう1年かけて準備を整えてまいります。

#### 4. まどか西中田拠点

##### 多機能型障害者支援事業所まどか西中田

###### ・就労継続支援事業（B型） 定員10名

就労支援事業所としての再構築を目指し、働く力と社会性を身に付けていきます。

また、「明るく、楽しく、快適に」利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生産活動を中心にその知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的におこないます。

###### ①野菜の販売

まどか農園や地域で生産された野菜を販売します。

###### ②PC解体

小型家電を分解・分別し、レアメタルを取り出し、資源の再利用をする事業としてPC等の基板を分解・分別する作業をおこないます。また、並行して再利用可能なPCの洗浄等をおこないます。

###### ③受託事業

内外からの作業を受託します。（近隣保育園の清掃、古新聞の再利用化）

###### ・生活介護事業 定員10名

穏やかな時間の流れに寄り添ったきめ細やかな日中活動支援の充実を図り、状況に応じた見直しに取り組みます。また、常時介護等の支援が必要な方に、食事及び排せつの介護、創作的活動等を提供し、生きがいと誇りのある生活支援を模索していきます。月2回程度、発声やリズムダンスによる音楽療法も引き続きおこなってまいります。

自立通所が難しい方には送迎支援をおこないます。

#### 5. 遠見塚拠点

##### 相談支援事業所あしすとびあ

###### ・指定特定相談支援事業

主に障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために支給決定をおこなうにあたって行政に提出が必要になるサービス等利用計画等を作成してまいります。令和2年度も引き続き各事業所をセルフプランでご利用の方にサービス等利用計画の導入を支援してまいります。また、相談支援事業所連絡会にも積極的に参加し、相談支援専門員のスキルアップとネットワークの拡大を図り、障害のある方たちの「みんなが輝くためのあしすと」を目指してまいります。

###### ・指定障害児相談支援事業

主に障害のある児童を対象に障害児支援利用計画等を作成し、相談支援をおこなってまいります。

##### 指定共同生活援助事業所びあびーんず とおみ定員4名

###### ・共同生活援助事業

障害のある方たちにとっては生活の場として重要な事業になっています。各家庭の諸事情に対応できるよう支援体制を整え、充実した共同生活がおこなえるよう事業を実施してまいります。

### Ⅲ. 広報活動について

多くの方たちに法人の活動状況を知っていただくために令和2年度もホームページを活用して事業所の情報や活動の内容を積極的に発信していきます。毎日の販売弁当の内容やイベント等については随時 Facebook を利用し、発信していきます。

各事業所のリーフレットやショップカードを作成し、各店舗に備え付けることで口コミ等での周知をひろげてまいります。また、事業所見学者等に配布することで事業所の特色をよりイメージしやすくし、利用につなげます。

### Ⅳ. 地域生活支援事業（余暇活動）について

#### ・コーラス活動（びあま〜る）

引き続き、在仙アーティストの猪狩太志氏の指導の下、月2回のペースでコーラス練習会を重ね、日常の生活の自信と誇りにつながるよう発表の場を設けていきます。「とっておきの音楽祭2020」「みやぎの・うたまつり」「福祉まつり ウェルフェア2020」等での発表を予定し、輝ける自己表現の場とします。今後、社会との懸け橋になるように利用者・ご家族・会員の方だけでなく多くの方の参加を促してまいります。

特に今年度の「とっておきの音楽祭」は20周年を迎えることもありフィナーレ等にも積極的に参加してまいります。また、東日本大震災時に支援の一環としてご招待いただいた鳥取県のNPO 法人地域活動支援センターおおぞらのバックコーラスにも参加する予定です。

#### ・社会活動参加事業について

①利用者の方たちと職員が集う暑気払い、クリスマス・忘年会、芋煮会、バーベキュー等、楽しい時間を共有していただけるような機会を作ってまいります。

#### ②研修旅行について

令和2年度の研修旅行は希望者の意向を踏まえた社会見学（研修）旅行になるよう企画してまいります。

### Ⅴ. その他

令和2年度も利用者・職員等の健康維持のため、健康診断を引き続き実施し、利用者の方々には嘱託医の金野公一医師及び沖田内科医院の沖田医師のご指導の下、健康管理に留意してまいります。